

将来の夢など 1分間で発表

幼児がスピーチに挑戦

幼児が1分間のスピーチに挑戦する「第11回こどもの声発表会」（札幌グリーンライオンズクラブ主催）が4日、札幌市北区の札幌サンプラザで開かれた。札幌などの幼稚園児や保育園児計11人が、将来の夢などを発表した。

小さな子どもたちが人前で発表する機会をつくるのが狙いで、審査は行われな

い。ステージに登壇した子どもたちは、原稿を見ずに元気な声で堂々と語った。

札幌きたの幼稚園の伊藤ひかりちゃん(5)は大好きなキノコの魅力を「面白い見た目もたくさんある」と話し「いつか新種のキノコを発見して、名前をつけた」と締めくくった。

併せて第22回青少年意見発表大会も行われ、市内や近郊の高校生12人が参加。札幌龍谷学園高2年の佐藤詩織さんが最優秀賞に選ばれた。
(谷本雄也)



将来の夢などを大きな声で発表する園児